

市町村名		沖縄市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	コミュニティーパーク整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成	
担当部課名	建設部	建築・公園課	事業実施 年度	平成 24	平成 28	年度 III-1-(1)	
事業内容	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等の促進するために、地域住民の意見・ニーズを反映させた実施設計をもとに、誰もが快適に健康づくりを行なえる公園整備を実施する。 ○若夏公園 整備面積 14,600㎡ 施設概要 トイレ、多目的広場、多目的コート、バスケットコート、複合遊具など ○美東公園 整備面積 18,000㎡ 施設概要 トイレ、多目的広場、多目的コート、バスケットコート、複合遊具など						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	合計	
	A. 予算現額	53,142	150,023	449,720	347,946	1,000,831	
	B. 執行済額	51,265	150,023	449,720	347,946	998,954	
	うち 交付金充当額	41,012	120,018	271,081	278,356	710,467	
	執行率(%) (B/A)	96.5%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	
執行状況の説明	磁気探査時に磁気異常点の確認できたことによる追加の探査が発生したことなどを理由に事業を繰越した。最終的には、執行率が99.8%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	美東公園	目標	-	確認探査 造成工事	修景設計 公園整備工事	建築監理業務 公園整備工事	整備工事
		実績	-	確認探査 造成工事	修景設計 公園整備工事	建築監理業務 公園整備工事	整備工事
	若夏公園	目標	基本計画策定	基本設計	実施設計	建築実施設計 磁気探査 造成工事等	①確認探査業務委託 ②管理棟新築工事管理 業務委託 ③管理棟新築工事意図 伝達業務 ④特別調査業務 ⑤整備工事1工区 ⑥整備工事2工区 ⑦整備工事3工区 ⑧管理棟新築工事
実績		基本計画策定	基本設計	実施設計	建築実施設計 磁気探査 造成工事等	①確認探査業務委託 ②管理棟新築工事管理 業務委託 ③管理棟新築工事意図 伝達業務委託 ④特別調査 ⑤整備工事1工区 ⑥整備工事2工区 ⑦整備工事3工区 ⑧管理棟新築工事	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	美東公園	目標	-	確認探査 造成工事	修景設計 公園整備工事	建築監理業務 公園整備工事	公園整備工事
		実績	-	確認探査 造成工事	集計設計 公園整備工事	建築監理業務 公園整備工事	公園整備工事
	若夏公園	目標	基本計画策定	基本設計	実施設計	建築実施設計 磁気探査 造成工事等	公園整備工事
実績		基本計画策定	基本設計	実施設計	建築実施設計 磁気探査 造成工事等	公園整備工事	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) <input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R1年度					
事業完了後の成果目標	公園利用者を対象に、当該公園を利用することで、疾病予防や健康増進につながったか、アンケートを実施し効果を確認する。	目標	80.0%	-	-	-	-
		実績	89.7%	-	-	-	-
	目標						
	実績						

【R1年度】
 ・公園周辺にお住まいの方を対象にアンケート調査を行い整備効果の確認を行った。

状況説明

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R1年度】 ・公園周辺へお住まいの方を対象にアンケート調査を行ったところ、公園施設を利用することで健康増進に繋がったと感じた利用者が約8割以上確認できた。主に、ウォーキング・ジョギングやレクリエーションなどの利用が多いことが要因として考えられ、今後は利用者のニーズに合わせたイベントの開催などが求められる。 ※健康増進に繋がったと感じた割合 ●若夏公園:91.61% ●美東公園:87.87%</p>	<p>【R1年度】 ・アンケート調査の結果を踏まえ、公園利用者がより良い環境で公園を利用できるよう維持管理に努めていく。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】
 ・関係機関や地域自治会などと連携し、地域の皆さんがイベントや催しなどを通じて健康増進が図れるよう利用しやすい公園空間の提供に努めていきたい。

市町村名	沖繩市					
沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	音楽産業拠点施設機能強化事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名	経済文化部 文化芸能課	事業実施年度	平成30 ~ 平成30 年度	沖繩振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	利用者の利便性向上とイベント来場者の満足度向上のため、ミュージックタウン音市場の音響調整卓を新たに設置し、施設の機能強化を図る。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	53,460				53,460
	B. 執行済額	45,144				45,144
	うち 交付金充当額	36,115				36,115
	執行率(%) (B/A)	84.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.4%
執行状況の説明	事業計画どおりに執行しており、不用額は入札差金によるものである。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度	○年度	○年度	○年度
	音響調整卓系設備の整備	目標	整備			
		実績	整備			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H30年度	R1年度	○年度	○年度
	音響調整卓系設備の整備完了	目標	整備			
		実績	整備			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	音市場ホール来場者数 50,000人以上	目標	50,000人				
		実績	48,654人				
	目標						
	実績						

【R1年度】
・新型コロナウイルス感染の影響により、イベント開催数が減少したことにより、目標達成には至っていないものの比較的影響が大きい3月を除くと、来場者は前年度に比べ伸びている。※4月～2月実績(R1年度:48,204人、H30年度:47,550人)

状況説明

【 年度】

【 年度】

【完了後】事業効果等の確認
(施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)

【完了後】改善措置等の検討
(事業効果の更なる向上等)

【R1年度】
・本事業による音響調整卓の機能強化により、施設はより利便性が高まり、安定的に稼働しているものの、新型コロナウイルス感染に伴い、イベント等の中止が相次いでいる。

【R1年度】
・新型コロナウイルス感染の状況等を考慮しながら、徐々に各事業の取り組みで利用者数、来場者数を増やしていく必要がある。

【 年度】

【 年度】

【 年度】

【 年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】
・各イベント主催者が施設の機材を把握できるよう、機材一覧をホームページ等で公表することで、利用拡大に努める。

【 年度】

【 年度】

市町村名	沖繩市							
沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	水難救助支援車整備事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強いまちづくり事業			
担当部課名	消防本部	警防課	事業実施 年度	平成 30	令和 1	事業年度	沖繩振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	クルーズ船の寄港等による入域観光客数の増加に伴い発生が懸念される水難事故等への対応、並びに災害時における消防活動の対応強化を図るため水難救助支援車の整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		30年度	○年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	53,812					53,812	
	B. 執行済額	48,816					48,816	
	うち 交付金充当額	39,052					39,052	
	執行率(%) (B/A)	90.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	90.7%	
執行状況の説明	不用額▲4,996千円については、水難救助支援車の購入による入札差額金である。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			30年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	水難救助支援車の整備(1台)		目標	1台				
			実績	1台				
			目標					
			実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			30年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	水難救助支援車の配備完了(1台)		目標	1台				
			実績	1台				
			目標					
			実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		令和元年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	18回				
	本車両を活用した水難救助訓練(18回/年)を実施することで、活用方法を検証し実災害への対応強化を図る。	実績	31回				
		目標					
		実績					
状況説明	【R1年度】 ・水難事故現場への出勤は3件、水難救助訓練は31回、うち2件は関係機関との合同訓練(沖縄本島中部地区を管轄する6消防本部、中城湾港を管轄する中城海上保安部)を実施。また、泡瀬漁港内で開催されたパヤオ祭りにおいて、地域住民や観光客等へ機能強化した水難救助支援車両の展示(PR)を実施した。活用実績は順調である。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・訓練回数は設定を上回り、水難救助体制の強化を図り、災害時の活動で機能強化を発揮することが出来た。また、イベントへの車両展示依頼を受け、市県民や観光客等へ海の事故防止に関心を与えることが出来た。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R1年度】 ・更なる訓練の充実を図り、水難事故や大規模災害等への対応強化を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・水難事故発生時に迅速・安全な救助活動を実施するため、関係機関との合同訓練の場を増やし、水難事故発生時の広域的な対応について連携強化を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名		沖縄市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	戦後文化資料等展示事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり	
担当部課名	総務部	総務課	事業実施年度	平成24 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート（以下、ヒストリート）における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である新聞記事資料及び写真のデジタル化を実施し、ヒストリートにて公開していく。</p> <p>「ヒストリート」の魅力向上と本市の個性豊かな歴史文化資源の効果的な情報発信に向け、展示室拡充を図るため移転先の改修及び移転を実施する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計	
	A. 予算現額	27,702	50,568	62,219	174,915	315,404	
	B. 執行済額	27,702	50,568	62,219	153,975	294,464	
	うち 交付金充当額	22,161	40,454	49,775	123,179	235,569	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	88.0%	93.4%	
執行状況の説明	改修予定施設の工事の施工上障害となる物件の撤去に不測の日数を要したため、平成29年度内の工事完了が困難となり、平成30年度に繰越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	戦後新聞記事データベース 作成業務:1988年~1995年(8年)	目標	2001年 ~2005年	1996年 ~2000年	1974年5月 ~1980年12月	1981年 ~1987年	1988年 ~1995年
		実績	2001年 ~2005年	1996年 ~2000年	1974年5月 ~1980年12月	1981年 ~1987年 (10%)	1988年 ~1995年
	総務課市史編集担当が保有する沖縄市戦後 写真のデジタル化	目標					実施
		実績					実施
	沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリートの移 転先の施設改修を行う。	目標					実施
		実績					実施
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	ヒストリート来室者数19,900人 (うち修学旅行生2,900人)	目標				19,900人 (2,900人)	
		実績				18,267人 (3,182人)	
	新ヒストリート移転改修工事等の完了	目標				改修工事等 の完了	
		実績				改修工事等 の未了	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【H30成果目標】 ・新ヒストリート来室者数 延べ21,600人 (うち修学旅行生3,200人)	目 標	21,600人 (3,200人)	21,600人 (3,200人)		
		実 績	19,770人 (3,484人)	25,077人 (6,961人)		
	目 標					
	実 績					

状況説明

【H30年度】
・新ヒストリート移転改修工事等が5月に完了。移転準備のため平成30年4月より旧ヒストリートを閉館。同年8月8日、新ヒストリートが開館となったことから当初の予定(12ヵ月)より稼働日(8ヵ月)に減少したことにより、目標が未達成となった。

【R1年度】
・来室者数は25,077人(うち修学旅行生6,961人)となり、昨年度実績を大幅に上回っている。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客へ施設を認知してもらう必要がある。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブヒストリートの活用。自治会への企画展の案内、大型ショッピングモールへのリーフレットの設置依頼等を行った。リーフレットを手にとっての来室が見受けられたため一定の効果があった。 	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ヒストリートの認知度向上や魅力の発信に努める必要がある。多言語リーフレットの制作を行った。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民をはじめ県民及び国内外からの来室者数を増加させるため、リーフレットの設置依頼を増やしていく必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

- ・Webヒストリートでの情報発信の強化と、関係機関と連携し観光客や修学旅行生等へのPR手法を検討していく。
- ・外国人観光客への誘客のため、リーフレットの更なる多言語化を検討する。
- ・市民に再度来ていただけるよう展示手法について適宜検討し、より本市の歴史文化に魅力を感じてもらえるよう取り組む。

【R1年度】

- ・Webヒストリートで情報発信強化及び、来館者へ再度来ていただけるようなPR手法に取り組む。